

平成 2 1 年 4 月

[配布先：全組合員]

市 場 情 報

<各地区市場動向>

北海道

公共投資に期待

今年は、例年になく早い春を迎え、クロッカスや紫ツツジが満開、桜前線も津軽海峡を越えいよいよ北海道に、道南・道央はゴールデンウィークが満開の予報、暗い世相のなか唯一明るく楽しいニュースです。

昨年からの大型プロジェクトもピークをこえ、これからは新年度新規物件の発注を期待、景気にも春の訪れを待ち望んでいます。

最近の鉄骨市場は、農業関連を含め、4ヶ月ぶりに中小物件の見積もりが増えてきた。しかし、全体的には物件数の冷え込みは厳しく、ゼネコンの受注競争が激しく、ファブ見積もり指値は一層厳しく苦戦している。

シャアの稼動は、マチマチ、ファブの新規見積もり指値厳しく、高炉メーカーの価格対応で、新規切板価格設定に苦慮している。橋梁については、補正・ゼロ国債は順調に発注され、今後も公共投資に大いに期待、景気悪化、最悪の状況から早く脱出できること期待、待ち望んでいる。

(玉造・西村卓也)

東京

春は名ばかり・・・

例年より早く桜前線の北上が報じられる季節となりました。

春は芽吹きの子節、いろいろな事が新しく始まり、いくつになっても心がわくわくする季節です。寒さで縮みがちだった気持ちも暖かさとともに開放的になり、何かいいこと始まる予感がしてきます。

08年度も終わろうとしています、関東支部規格建材部会5社の08年度の稼働状況は対07年度とほぼ同レベルになりそうです。橋梁は需要家が07年度の契約残を大量に持ち越しそれが今年度発注された事で10%増えたものの、鉄骨は首都圏を初めとする大型物件の発注時期がズレた事、建産機等のその他の切板が景気の急激な冷え込みにより、08年夏場以降大幅に数量が落ち込んだ事で相殺されれば07年度並となる模様。

建材型のシャ-は世間の景気の影響を受けるのは半年から1年後とよく言われており、足もと数量ダウンはしていないものの、その兆候は既に見えて来ている。

鉄骨はまだまだ大型案件の予定はあるものの、年が明け工事の中止や延期が相次いでいる事や海外ファブの起用が目立ち始めた事などで先行きは極めて不透明になっている。

橋梁は前倒し発注があると思われるが、絶対量の減少の影響は必ずどこかで出てくるはず。

好調だった造船も完成船の引渡しの変更から工程調整が大幅に実施され内製化が進み、シャ-への発注も減少化を辿ると想定される。

等々現実はいいい事が始まる予感の的中しそうもありません。せめてスクラップだけでも値戻し(@30-40)して欲しいと願うこの頃ですがこちらも期待薄。

(神鋼鋼板加工・菊地則夫)

東 海

焦らず、とにかく冷静な対応を！！

昨年、秋以降の底が抜けたような景気の急落の波を受け、産建機系のシヤーを中心に大きく需要が落ち込んでまいりました。先の見通しも立たない状況下において、在庫率のみ大きく増加していく状況の中で、春以降のメーカーの値下げを想定してか？また、決算時期を迎える中での急激な落ち込みに対する対応策なども大きな起因となって、年初より大幅な切板単価の値下げ競争が始まってしまいました。

しかし、この時期に来てメーカーの来期の価格も見え始めている中で、当初予想されていたほどの価格引下げが期待できなくなってきた今、各社それぞれ抱えてる問題はあるかと思いますが、そんな時こそ沈着冷静な対応が必要かと思えます。真綿で自分の首を絞めているなんて表現をされますが、このような理に合わない価格崩壊が続けば真綿でなく、荒縄で首を絞めていくことに気づき、一刻も早く冷静な自分を取り戻して頂きたいと常に思っております。

このような売り手市場から、完全に買い手市場に変化した情勢だからこそ、顧客の信用を築き、コミュニケーションを深めていくことが、最も肝心かと思えます。

(青山商店・青山 高久)